

臨時交番相談員配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	地域課	課長名	森川博幸	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H15 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
[事業目的]												
<p>県下の全交番にアルバイトの臨時交番相談員を配置し、地理案内や各種相談業務を行わせることによって警察官のパトロール強化および空き交番の解消を図り、県民からの「パトロールを強化してほしい」「交番にいつもいてほしい」といった要望に応え、積極的に地域警察活動を実施する。</p>												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県下の交番に臨時的に交番相談員を継続して配置する。 ○ 地域警察活動について、知識および経験を有する者をアルバイト職員として採用する。 ○ 職務内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地理案内 ・ 事件および事故の届出を認知した場合における警察官への通報 ・ 各種相談を認知した場合の警察官への通報 ・ その他警察署長の命ずる事項 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		31,576	31,269	31,268	35,336	40,593			<ul style="list-style-type: none"> ・ H26～通勤費認定方法の変更（700円一律 → 距離に応じた金額） ・ H27～賃金日額の増額（5,500円 → 6,000円） ・ H28.10～社会保険料の支払いが発生予定（共済費の増額） 			
2月現計予算額の推移		30,895	30,767	31,354	34,828							
決算額の推移		30,485	30,547	31,108								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	交番相談員の取扱い件数	(目標)							一人当たりのひと月における平均取扱い件数 年統計のデータしかないため、24年度（H24.1～12）25年度（H25.1～12）26年度（H26.1～12）27年度（H27.1～12）			
		実績	32.6	27.0	25.8	30.7						
活動指標	勤務実績	(目標)	(15)	(15)	(15)	(15)			一人当たりのひと月における平均勤務日数 27年度（H27.4～H28.1）			
		実績	14.7	14.6	14.5	14.5						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	40,593			諸	2,627	37,966	事業実施方法	直営				
査定案							補助率	-				

事業評価

事業名	臨時交番相談員配置事業	部局名	警察本部	課名	地域課	課長名	森川博幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>犯罪認知件数が戦後最悪を記録するなど、治安情勢の急激な悪化を受け、平成15年9月、小泉首相（当時）が第157回国会の所信表明演説において「空き交番ゼロを目指す。」と表明、警察庁から「空き交番」解消が全国警察に指示された。これを受け、本県でも、空き交番対策を推進することとなり、その一環として平成7年から運用していた交番相談員に加え、臨時交番相談員の配置運用が開始された。交番相談員は、非常勤職員の身分を有し、分庁舎を除く全40交番に交番相談員に配置されていたが、月の勤務日数は概ね21日、1日の勤務時間は5～6時間であることから、その休日や勤務時間外に不在状態が生じていたが、臨時交番相談員の配置により、日中の不在状態の解消に大きく貢献しており、「見える・見せる」警察活動を今後も継続推進していく上で必要不可欠な事業である。</p> <p>なお、平成27年（1月～12月）の取扱い件数（地理案内、事件事故の通報連絡等）は、11,428件、1人当たりの月平均は約31件となっている。</p>							
[受益者] 管轄内住民				[想定される受益者数]			
他県の状況	他県は、交番相談員制度については運用されているものの、臨時交番相談員については、本件の独自施策であり、他県での運用実績はない。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
平成26年取扱い（地理案内、遺失拾得、事件事故の通報等） 総数 9,592件（1人月平均25.8件）		繁忙交番を分析の上、配置交番の変更が必要であれば、弾力的運用を検討		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「福井しあわせ元気」国体・大会に伴う警衛警備対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	警備課	課長名	高中真太郎
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H30 年度	
関連する県の計画等			[]								
[事業目的]											
<p>平成30年に開催される「第73回国民体育大会」及び「第18回全国障害者スポーツ大会」に天皇陛下を始めとする皇室の方々が開閉会式へのご臨席等のため、来県予定であり、皇室の方々の御身辺の安全確保に万全を期すとともに国民体育大会の円滑な開催への寄与を目的とする。</p>											
[事業内容]											
<ul style="list-style-type: none"> ○ 警衛警備対策課の設置 ○ 警備計画策定のための基礎調査 ○ 先催県への視察及び警察庁等との協議 ○ 県警察部内職員に対する巡回教養 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		/	/	/	0	10,181			警衛警備対策にかかる諸経費（視察旅費や備品購入費等）が大幅に増加		
2月現計予算額の推移		/	/	/	778						
決算額の推移		/	/	/							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績	/	/	/					国体と障スポにおいて皇室の方々の個身辺の安全確保に万全を期す		
活動指標	(目標) 実績	/	/	/		(22)					
各所属への巡回教養											
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部				
要求額	10,181				10,181	事業実施方法	直営				
査定案						補助率	—				

事業評価

事業名	「福井しあわせ元気」国体・大会に伴う警衛警備対策事業	部局名	警察本部	課名	警備課	課長名	高中真太郎														
[事業の必要性・要求の背景]																					
過去の植樹祭等の警衛警備においても2年前に警衛警備対策課を立ち上げ、必要な諸経費を要求している。																					
【28年度】 警衛警備対策課を新設 ・各種基礎調査等		【29年度】 体制を増強 ・警備計画の検討等		【30年度】 行幸啓に伴う警衛警備を実施																	
[受益者]				[想定される受益者数]																	
他県の状況	<input type="radio"/> 和歌山県 (27年開催) <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>25年度</td><td>28,030千円</td></tr> <tr><td>26年度</td><td>55,688千円</td></tr> <tr><td>27年度</td><td>399,910千円</td></tr> </table> <input type="radio"/> 長崎県 (26年開催) <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>24年度</td><td>41,875千円</td></tr> <tr><td>25年度</td><td>24,478千円</td></tr> <tr><td>26年度</td><td>229,393千円</td></tr> </table> <input type="radio"/> 東京都 (25年開催) <p style="margin-left: 20px;">参考にならないため省略</p> <input type="radio"/> 岐阜県 (24年開催) <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>22年度</td><td>行幸啓(豊かな海づくり大会)</td></tr> <tr><td>23年度</td><td>12,840千円</td></tr> <tr><td>24年度</td><td>164,855千円</td></tr> </table>	25年度	28,030千円	26年度	55,688千円	27年度	399,910千円	24年度	41,875千円	25年度	24,478千円	26年度	229,393千円	22年度	行幸啓(豊かな海づくり大会)	23年度	12,840千円	24年度	164,855千円	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <p style="margin-left: 20px;">事業名 (実績)</p>
25年度	28,030千円																				
26年度	55,688千円																				
27年度	399,910千円																				
24年度	41,875千円																				
25年度	24,478千円																				
26年度	229,393千円																				
22年度	行幸啓(豊かな海づくり大会)																				
23年度	12,840千円																				
24年度	164,855千円																				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <p style="margin-left: 20px;">事業名 (役割分担)</p>	市町との連携状況																			
[事業の評価]																					
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価																	
警衛警備対策状況を参考とするための先催県への視察旅費とその際に使用する消耗品を購入		・新設する所属のための備品購入 ・継続して先催県への視察するための旅費や視察後の部内職員に対する巡回教養などの諸経費を計上		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額														
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了															
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他															

施設警備支援体制整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	嶺南機動隊		課長名	山田 誠司
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
緊急時における住民の安全確保のため原子力発電施設等の警備を行う警察官の業務体制を維持するための物品等を整備する。												
[事業内容]												
警戒警備に従事する部隊員の処遇改善に必要な物品等の整備。												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		2,885	3,232	3,273	3,311	3,429						
2月現計予算額の推移		2,650	2,851	3,025	3,042							
決算額の推移		2,600	2,811	2,952								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								通常の警戒警備業務に必要な物品のため、指標を設定することが困難			
活動指標	(目標) 実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	3,429	3,429				事業実施方法	直営					
査定案			補助率	—								

事業評価

事業名	施設警備支援体制整備事業	部局名	警察本部	課名	嶺南機動隊	課長名	山田 誠司
[事業の必要性・要求の背景]							
警戒警備中の部隊員が待機する原子力発電所内の待機室および部隊の宿泊施設において、日常生活に必要な物品等を整備し、部隊員の処遇改善を継続して図る必要がある。							
[受益者] 原子力施設の警戒警備に当る部隊員				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績	実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価				
原発の警戒警備に従事する部隊員の日常生活に必要な物品等の整備			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
			<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

県警察の災害対策機能の強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	警備課	課長名	高中真太郎
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[日本一の安全・安心]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
[事業目的]											
大規模災害現場における指揮機能および救助救出能力の強化を図る											
[事業内容]											
<p>○指揮機能の強化 突発的に発生する大規模災害の現場直近において、迅速に指揮体勢を確立し、災害情報の収集や対処方針の決定等の所要の措置を講じるための現地指揮所を整備することで指揮機能の強化を図るとともに、同所から災害情報の発信等を行い、被災地における住民の安心感にもつなげる。 現場指揮所セット 11式</p> <p>○救出救助能力の強化 土砂災害現場や倒壊家屋内といった狭隘な空間における被災者の迅速かつ的確な救出救助が要求されている現状から、倒壊家屋等を想定した訓練ユニットを整備し、狭隘空間を想定した救出救助訓練の反復実施により、個々の救出救助能力の強化を図る。 訓練ユニット一式(訓練ユニット9個、タイプR2個、タイプE2個) 救助訓練人形1体</p>											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		/	/	/	69,740	8,294			非常用発動発電機の連続稼働時間を拡充する工事が完了したことによる減など		
2月現計予算額の推移		/	/	/	35,347						
決算額の推移		/	/	/							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績	/	/	/					救出救助能力の強化が目的であり、数値目標の設定は困難である		
活動指標	救出救助訓練の実施	/	/	/		72回			訓練ユニットを使用して機動隊、管機隊員、二機隊員が救出訓練を実施する。各隊が毎月2回実施 3×2回×12月		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		警察本部			
要求額	8,294	8,294			0	事業実施方法		直営			
査定案						補助率		-			

事業評価

事業名	県警察の災害対策機能の強化事業	部局名	警察本部	課名	警備課	課長名	高中真太郎
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>警察では、平素から大規模災害を想定した対処訓練を実施し、指揮機能及び救出救助能力の強化を図っているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指揮機能の強化 現地指揮所の設置について、警察署等で大型テントや会議用テーブルを保有しているが、災害現場直近への持ち込みを想定した機能的なものではなく、かつスピード感を重視した設置もきわめて困難である。 ○救出救助能力の強化 これまで「仮設の倒壊家屋」や「取り壊し予定の施設」を使用した救出救助訓練を行っているが、設置の都度費用がかかり、また施設探しが困難である。 							
[受益者]				[想定される受益者数]			
被災された県民							
他県の状況	○訓練ユニット中部管区内の状況 富山県 26年度、27年度の2カ年で整備済み 石川県 28年度当初予算に要求予定 岐阜県 28年度当初予算に要求予定 三重県 平成27年度で整備 愛知県 検討中	前事業の有無・実績		■ 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	■ 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績	実績を踏まえた28年度の変更点	事業評価					
・非常用発動発電機の連続稼働時間を拡充する為の工事請負費 ・非常用発動発電機の燃料費	突発的な大規模災害の現場において使用するための現地指揮所セットを購入し活用することにより指揮機能を強化する。 また、大規模災害を想定し救出訓練を行うことのできる訓練ユニットを購入し活用することにより個々の救出救助能力の強化を図る。	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	△ 61,446	
		<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

新 「見える・見せる」パトロールの推進強化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	地域課	課長名	森川博幸
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
		政策 [日本一の安全・安心]			<input type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金				
関連する県の計画等		[「安心・安全ふくい」万全プラン]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他				

[事業目的]

県下の交番に配備されている小型警ら車にドライブレコーダーを整備し、適正な職務執行の立証や各種事案の事後捜査、万一交通事故が発生した場合の客観的証明等に活用し、「見える・見せる」警察活動を強化、犯罪の起きにくい福井の社会づくりを目指す。

[事業内容]

交番に配備されている小型警ら車にドライブレコーダーを設置

[予算額の推移等]

(単位：千円)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移					2,215			
2月現計予算額の推移								
決算額の推移								

[成果指標等の推移]

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標 登下校時間帯を重点とした見える見せる活動の強化					(登下校1hずつ)			単独警ら支援により勤務員の多角的・効率的運用を図るため、ドラレコ導入とともに勤務基準を見直し、登下校時間帯を重点とした見える見せる活動を強化
活動指標 一当務あたりの機動警ら時間					(6.5h)			平成27年中の一当務(24h)当たりの平均警ら時間(6h)から、約10%増強

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部
要求額	2,215	1,106			1,109	事業実施方法	直営
査定案						補助率	—

事業評価

事業名	㊦ 「見える・見せる」パトロールの推進強化事業	部局名	警察本部	課名	地域課	課長名	森川博幸
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>現在、県警察では「安全・安心ふくい」万全プランに基づき、パトロール等の「見える・見せる」警察活動を推進中であり、その施策の一環として、交番勤務員の単独警らに対する支援方策を検討中である。</p> <p>交番で運用する小型警ら車において、その乗務員は、車両の運転をしながら不審者の発見、交通指導取締り等を行わなければならない。また、交通事故防止、適正な職務執行の立証等の観点からも質の高い警ら活動が必要とされる。そのため、日々の訓練や教養による技術の向上に努めるほか、2名乗車による警らも行っているが、限られた人員で効果的業務を推進するため単独警らを行う場合、さらに職務執行等の適正さを向上させ、県民にとって安心・信頼のできる警ら活動として質を高めていく必要がある。その支援対策としてドライブレコーダーを活用するもの。</p>							
[受益者] 管轄内住民				[想定される受益者数]			
他県の状況	<input type="radio"/> 47都道府県中24道府県で整備 ・ 中部管区内 福井、愛知のみ未整備 岐阜は整備に向け予算要求を行っているが、28年度不可。 <input type="radio"/> 整備県24道府県 小型警ら車3,792台中、1,348台に整備 (整備率35.5%) 1,348台のうち1,267台が過去3年以内に整備	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

駐在所等整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	会計課	課長名	嘉村 宏之
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [日本一の安全・安心]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 S29 年度 経過年数 63 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[「安全・安心ふくい」 万全プラン]								
[事業目的]											
老朽化の状況に応じ、交番、駐在所を建替えを行い地域安全活動の拠点とする。											
[事業内容]											
○建設 ・ 福井南警察署福町交番 ・ 敦賀警察署粟野交番											
○敷地購入 ・ 越前警察署国高交番											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		42,897	136,603	160,763	159,256	128,240			27年度は3交番の建替えであったが28年度は2交番であるため。		
2月現計予算額の推移		46,646	136,603	158,542	155,261						
決算額の推移		46,170	135,947	157,490							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								老朽化や施設の狭隘状況に応じて計画的に建替を実施するため、成果指標の設定は困難		
活動指標	(目標) 実績	(4) 1	(4) 4	(4) 4	(4) 3	(4) 2					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部				
要求額	128,240		95,000		33,240	事業実施方法	直営				
査定案						補助率	—				

事業評価

事業名	駐在所等整備事業	部局名	警察本部	課名	会計課	課長名	嘉村 宏之	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>福町交番は昭和48年に建設された建物であり、築後42年が経過し狭隘で老朽化が著しいため、現地建替えを実施する。 粟野交番は、舞鶴若狭自動車道敦賀南スマートインターチェンジの供用開始（28年度末予定）という道路環境の変化に伴い付近路線の交通量増が見込まれることや、管内の治安情勢及び人口分布の変化を受け28年度に建替えを実施する。なお、27年度で地質調査と実施設計を実施した。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
四ツ井交番（福井市）、丸山交番（福井市） 国高交番（越前市）の建替え		福町交番（福井市） 粟野交番（敦賀市）の建替え 国高交番敷地（越前市）の購入			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 31,016
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

小浜警察署建設事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	会計課	課長名	嘉村 宏之	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度	H31 年度
		政策 [日本一の安全・安心]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数				
関連する県の計画等		[「安全・安心ふくい」万全プラン]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他	2 年				
[事業目的]												
老朽化した現小浜警察署を、捜査基盤や災害対応力を強化し、若狭地域の治安を守る拠点として整備する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施期間 : 平成27年度～平成31年度 ○ 庁舎の規模 : RC-4 庁舎面積 3,139.90㎡ 付属棟 587.08㎡ (車庫394㎡、大型証拠品庫100㎡、災害対策用装備品倉庫73.08㎡、自転車置場20㎡) ○ 平成28年度の事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地質調査委託、実施設計委託（建築）、造成工事監理・積算補助委託 ・用地購入 ・造成工事 等 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	/	11,420	316,322			用地購入費や造成工事等の増			
2月現計予算額の推移		/	/	/	10,830							
決算額の推移		/	/	/								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績	/	/	/					複数年計画の整備事業であり、指標を設定するのは困難			
活動指標	(目標) 実績	/	/	/								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	316,322		236,000		80,322	事業実施方法	直営					
査定案		補助率		—								

事業評価

事業名	小浜警察署建設事業	部局名	警察本部	課名	会計課	課長名	嘉村 宏之	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>小浜警察署は昭和49年に建設、築41年を経過したが、同庁舎は1階部分が駐車場になっているいわゆる「下駄履き構造」のため耐震性に劣り、平成9年に実施した耐震診断では建物の補強を要する「D」判定を受けた施設である。</p> <p>警察署は、犯罪の予防・鎮圧、被疑者の逮捕など、地域の治安維持のために昼夜を分かたず活動しているほか、大規模災害発生の際は被災者の救助活動の拠点となる重要な施設であるが、耐震性が低いことに加え、浸水想定2m～5m未満の区域に立地しているなど、災害に対して脆弱な施設であることから、平成27年度から5カ年計画で建て替えを実施する。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
【工事内容】 ・測量調査設計業務 ・設計監理補助委託 ・土地鑑定委託		【工事内容】 ・地質調査 ・実施設計委託 ・造成工事管理、積算補助委託 ・用地購入 ・造成工事 等			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

犯罪被害者等支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	警察本部	課名	警務課	課長名	奥村善信	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S29 年度 経過年数 63 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
<p>犯罪により被害を受けた被害者やその家族または遺族の精神的・経済的負担を軽減するため、診断書料、遺体修復費用およびハウスクリーニング経費などを公費負担する。</p>												
[事業内容]												
<p>○犯罪被害者等に対する精神的・経済的負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初診料、診断書料等 ・性犯罪被害者への緊急避妊等経費 ・司法解剖等における遺体の修復・搬送料 ・死体検案書料 ・緊急避難場所及び相談会場の確保経費 ・ハウスクリーニング経費 <p>等を公費負担する。</p>												
[予算額の推移等]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		3,389	3,046	3,554	3,866	4,758			犯罪被害者等への情報提供により、緊急避難場所等の確保に要する経費等が年々増加している。また、新たな費用としての「ハウスクリーニング経費」による増			
2月現計予算額の推移		3,389	3,046	3,874	5,815							
決算額の推移		3,389	3,046	3,874								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	公費負担件数	(目標)							犯罪被害者は及びその家族又は遺族に対する、直接的被害、再被害の不安等の二次的被害防止のための精神的、経済的負担を軽減するもの。			
		実績	174	100	174							
活動指標	被害者の手引きの配布数	(目標)							犯罪によって受けた被害を回復・軽減するために受けることのできる支援内容や、刑事手続に関する情報が記載されているもの。			
		実績	720	700	620							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	4,758	2,371				2,387	事業実施方法	直営				
査定案			補助率	—								

事業評価

事業名	犯罪被害者等支援事業	部局名	警察本部	課名	警務課	課長名	奥村善信
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>犯罪の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）は、生命を奪われ、家族を失い、傷害を負わされ、財産を奪われるといった、いわば目に見える被害に加え、それらに劣らぬ重大な精神的被害を負うとともに、再被害の不安にさいなまれている。</p> <p>このような犯罪被害者等に最初に接し、密接に関わる警察として、情報提供、捜査による二次的被害の防止及び軽減、精神的、経済的被害回復への支援などの各種施策を推進する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
被害者及び被害者家族							
他県の状況		前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名		
				(実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		(役割分担)	事業名		
						市町犯罪被害者等支援主管課長会議において17市町の被害者支援担当者から活動状況を確認している。	
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
被害者の手引き等を作成・配付し、刑事手続きや法的救済制度等の情報を提供した結果、犯罪被害者の不安の解消と経済的負担の軽減を図った。		遺族等の精神的かつ経済的な軽減を目的とした新たな支援として、自宅等が犯罪現場となった場合において、専門業者が実施する「ハウスクリーニング経費」の公費負担を行うこととした。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

被害早期回復・理解増進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	警察本部	課名	警務課	課長名	奥村善信	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S29 年度 経過年数 63 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
<ul style="list-style-type: none"> ・精神的な被害から早期に回復させるため、相談相手となり、必要な生活の手助けをするなどの活動の促進を図る。 ・被害者等の講話、各種広報媒体を活用し犯罪被害の実態や支援の必要性について県民の理解を深める活動を行う。 												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○犯罪被害早期回復支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・電話、面接相談 ・民間支援員の養成、研修 ・専門家（臨床心理士）による相談 ○県民の理解増進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県民公開講座の開催 <p style="margin-left: 40px;">を民間支援団体へ事業委託する。</p>												
[予算額の推移等]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		2,881	2,771	2,778	2,780	2,774						
2月現計予算額の推移		2,881	2,771	2,778	2,780							
決算額の推移		2,881	2,771	2,778								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県民公開講座	(目標)							被害者の講演や各種媒体を活用し、犯罪被害の実態、命の大切さ、被害者支援の必要性について、県民の理解を深めるもの。			
		実績	1700	850	125							
活動指標	相談件数	(目標)							被害直後の様々な問題に苦しめられ、警察への相談を躊躇する被害者に対し相談・付き添い等、必要な生活の手助けをするもの。			
		実績	130	205	187							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	2,774	1,386			1,388	事業実施方法	委託					
査定案			補助率	—								

事業評価

事業名	被害早期回復・理解増進事業	部局名	警察本部	課名	警務課	課長名	奥村善信
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>被害者及びその家族は、直接的な被害だけでなく、被害後生じる様々な問題に苦しめられ、今後不安を抱え、周囲の好奇の目、誤解に基づく中傷などその名誉や生活の平穏が害され、精神的な被害に悩みながらその窮状を相談できず（警察等への相談を躊躇）、社会もまたこれに気付かず、一人放置されている。 特に女性の犯罪（性犯罪）被害者は、精神的なショックや羞恥心等から警察に被害申告することをためらい、事件が潜在化している可能性がある。</p>							
[受益者] 被害者及び被害者家族				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	市町犯罪被害者等支援主管課長会議において17市町の被害者支援担当者から活動状況を確認している。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
被害相談窓口等を広報・周知することにより、犯罪被害者の不安等を解消し被害の早期回復を図った。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

来日外国人犯罪・広域組織犯罪対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	警察本部	課名	教養課	課長名	末永 勝	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
来日外国人犯罪の取締り強化に必要とされる指定通訳官の通訳能力を維持・向上させ、指定通訳官の量的・質的確保に資する。												
[事業内容]												
<p>○ 一定のレベルの語学能力を有する警察職員に対して語学研修を実施し、同能力のレベルアップを図る。</p> <p>1 言語 来日外国人検挙状況及び通訳官の研修空白歴等を勘案して決定</p> <p>2 形態 警察施設を利用したブラッシュアップ語学研修</p> <p>3 人員 指定された言語の通訳官</p> <p>4 期間 土日を除く実質8日間（1日5レッスン、1レッスン80分）</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,650	1,485	1,296	1,165	994						
2月現計予算額の推移		1,650	1,485	1,296	1,165							
決算額の推移		1,487	1,485	1,293								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	通訳派遣回数	(目標)							単位：回 27年は12月末現在			
		実績	308	211	195	214						
活動指標	指定通訳官数	(目標)							単位：人			
		実績	41	39	41	41						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	994					994	事業実施方法	直営				
査定案		補助率	—									

事業評価

事業名	来日外国人犯罪・広域組織犯罪対策事業	部局名	警察本部	課名	教養課	課長名	末永 勝	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>外国語を駆使するためには、継続した語学学習が必須であり、まして警察通訳においては、被疑者の国籍国の風習、歴史、宗教観、時事等の世情を踏まえた上での巧みな会話力が真実究明のために必要である。一方、県警察の通訳官（10言語41人）の多くは、警察大学校国際警察センターにおいて集中的に語学研修を受けさせた後、通訳官に指定して運用しているが、それぞれ本来業務を付与されている傍ら通訳業務に応じているのが現状である。各人は、教材を自費購入するなどして語学力の維持向上に努めているものの、月日の経過に伴う能力の低下には抗いがたく、特に会話力に関しては、自分より高度な知識や経験を持つ者からの教授でなければ、向上させることは困難であり自己研鑽だけでは解決できない問題である。以上より、司法通訳等経験豊富なネイティブ講師による短期集中的なブラッシュアップ研修による語学力の維持向上が必要不可欠と考える。</p>								
[受益者] 指定通訳官				[想定される受益者数] 41人（平成27年度）				
他県の状況	<input type="radio"/> 富山県 無 （その他初学者対象の集中語学研修費 1,500千円） <input type="radio"/> 石川県 国際捜査官養成語学研修講師謝金 2,240千円 <input type="radio"/> 岐阜県 語学研修委託費 700千円 （その他初学者対象の国際化事業対策費 5,400千円） <input type="radio"/> 愛知県 ブラッシュアップ教養費 197千円 （その他語学委託教養費 17,788千円） <input type="radio"/> 三重県 国内語学研修費 630千円	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	特になし					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<input type="radio"/> 言語 タガログ語 <input type="radio"/> 場所 警察本部内 <input type="radio"/> 人員 3人 <input type="radio"/> 期間 8日間（1日5レッスン、1レッスン80分間） 上記により実施（平成28年1月～2月）					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

特殊詐欺撲滅！県民大作戦

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	生活安全企画課	課長名	江戸 義朗	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [日本一の安全・安心]				□ 県単	□ 補助金				
[事業目的]												
特殊詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害を防止するため、未然防止対策の強化を図る												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○「家族の愛（合）言葉」作戦による被害未然防止 <ul style="list-style-type: none"> ・愛（合）言葉グッズの配布（324千円） ・新任民生委員に対する講習（76千円） ○金融機関等の窓口における声かけ強化 <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関等担当者の研修（46千円） ・声掛けマイスターカードの交付（162千円） ○金融機関のATMコーナーにおける注意喚起 <ul style="list-style-type: none"> ・注意喚起用「立看板」の設置（3,693千円） ○警告機能付き電話録音機を活用した体験型出前講座の実施 ○「だまされた振り作戦」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・周知用リーフレットの配布（760千円） 												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	/	7,890	5,061			27年度に購入した備品購入費の減			
2月現計予算額の推移		/	/	/	7,615							
決算額の推移		/	/	/								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	被害件数 (目標)	/	/	/	58				特殊詐欺被害の認知件数実績			
	実績											
活動指標	出前講座実施回数 (目標)	/	/	/	189				警察官が公民館等で実施した特殊詐欺被害防止及び注意喚起のための講習会の回数			
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		警察本部				
要求額	5,061	4,398			663	事業実施方法		直営				
査定案						補助率		—				

事業評価

事業名	特殊詐欺撲滅！県民大作戦	部局名	警察本部	課名	生活安全企画課	課長名	江戸 義朗
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成27年の被害件数は58件、被害額は2億5,284万2千円となっており、被害件数は昨年より7件増加するなど被害に歯止めがかからない状況にあり、県民は犯罪の中でも特殊詐欺に最も不安を感じているため、犯人グループ壊滅に向けた取締り、家族・企業・福祉関係者等による被害防止対策の強化を県民総ぐるみで展開する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
○愛(合)言葉グッズの配布 ○声かけマイスターの指定 ○注意喚起文書の全戸配布 ○出前講座による注意喚起 ○広報		○夜間や休日等の水際対策として、金融機関のATMコーナーに注意喚起用「立看板」を設置		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

㊦ 女性安全安心対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内・外	部局名	警察本部	課名	生活安全企画課	課長名	江戸 義朗	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	□ 政推枠 ビジョン [] 政策 []					事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等							■ 県単	□ 補助金				
[事業目的]												
女性の自主防犯能力の向上、女性が相談しやすい環境整備、人身の安全確保対策およびストーカー事案の再発防止を図り、女性が被害にあいやすい犯罪を未然に防止す												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○相談、支援に関するリーフレット作成、配布 <ul style="list-style-type: none"> ・女性の運転免許保有者に平成27年度から平成31年度の5年間配付（216千円） ○緊急通報装置の貸出し <ul style="list-style-type: none"> ・34台（475千円） ○ストーカー・DV被害対策用防犯カメラの貸出し <ul style="list-style-type: none"> ・1セット整備（既整備数 13セット）（583千円） ㊦○精神科医等による警察担当者へのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・加害者に対する治療の必要性、再発防止のための対応方法の助言（1,264千円） ㊦○カウンセリング講座等の受講 <ul style="list-style-type: none"> ・講習2回（280千円） 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,138	1,138	3,449	2,703	2,818			ストーカー・DV被害対策用防犯カメラの整備数減			
2月現計予算額の推移		1,138	1,138	2,773	2,555							
決算額の推移		1,138	1,138	2,773								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ストーカー・DV事案認 知件数	(目標)							警察が認知したストーカー・DV事案の認知件数			
		実績	263	288	320	279						
活動指標	検挙・警告・保護命令件 数	(目標)							警察が認知したストーカー・DV事案について捜査した結果、被疑者を検挙又は被疑者に対し警告、保護命令した件数			
		実績	48	51	89	103						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		警察本部				
要求額	2,818	1,063			1,755	事業実施方法		直営				
査定案						補助率		-				

事業評価

事業名	女性安全安心対策事業	部局名	警察本部	課名	生活安全企画課	課長名	江戸 義朗	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>ストーカー・DV事案の認知件数は高止まりの状態となっており、女性を犯罪から守る対策が急務となっているため。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
○女性の運転免許更新者に相談・支援に関するリーフレット配付 ○緊急通報装置を延82人に貸出し ○ストーカー・DV被害対策用防犯カメラを延14人に貸出し		警察が精神科医やカウンセラーから、加害者に対する治療の必要性、再発防止の為の対応方法の助言等を受け、ストーカー事案の再発防止を図るという新たな取り組みを実施する。			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新 ふくいの子供と女性を犯罪から守る社会づくり事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内・外	部局名	警察本部	課名	生活安全企画課	課長名	江戸 義朗	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H30 年度
		政策 [日本一の安全・安心]			■ 県単		□ 補助金					
関連する県の計画等			[「安全・安心ふくい」万全プラン]				□ その他	□ その他				
[事業目的]												
街頭防犯カメラを整備するとともに、企業等における女性の安全安心対策を推進し、わいせつ事犯や声かけ事案等の被害を未然に防止する。												
[事業内容]												
<p>○街頭防犯カメラの整備（4,706千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備箇所 福井市運動公園周辺 ・整備台数 街頭防犯カメラ20台 <p>○相談環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レディースパートナーに対する研修会の実施（120千円） ・レディースガードリーダーの育成（245千円） 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						5,071						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	声かけ事案等の認知件数 (目標)								声かけ事案等の認知件数を減少する			
活動指標	レディースガードリーダーの指定 (目標)								女性が多く働く民間企業等にレディースガードリーダーを指定			
	実績											
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額						事業実施方法	直営					
査定案	5,071	122			4,949	補助率	-					

事業評価

事業名	㊦ ふくいの子供と女性を犯罪から守る社会づくり事業	部局名	警察本部	課名	生活安全企画課	課長名	江戸 義朗
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>子供や女性が被害者となるわいせつ事犯等の身体犯は増加傾向、子供に対する声かけ事案等の認知件数は高止まりの状態にあり、県民の子供と女性に対する犯罪に対する不安が大きくなっており、わいせつ事犯や声かけ事案等は、悪質な性犯罪や誘拐等の重大な犯罪に発展する可能性のある前兆事案であることから、先制・予防的活動を強化し、卑劣な犯罪を防止する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	○ 24 都道府県で 1, 373 台設置	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

住宅侵入犯罪抑止対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	警察本部	課名	生活安全企画課	課長名	江戸 義朗	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
県民自らの自主防犯意識を高め、「犯罪に強い住環境」の整備促進を図り、住宅侵入犯罪の発生を減少させる												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○防犯設備士による警察官の現地指導 <ul style="list-style-type: none"> ・24回実施（404千円） ○住宅情報誌による広報 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅新築時における防犯性の高い住宅、設備に関する広告記事を年1回掲載（648千円） ○犯罪に強い住環境整備促進ネットワーク会議における講習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・建築、不動産等企業に対し、侵入犯罪に強い住宅、設備についての講習会を2回実施（229千円） 												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	1,442	1,281	1,281						
2月現計予算額の推移		/	/	1,442	1,281							
決算額の推移		/	/	1,442								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	住宅侵入窃盗認知件数 (目標)	/	/	199	166				警察が認知した住宅侵入窃盗事案の件数			
	実績											
活動指標	現地指導 (目標)	/	/	448	371				防犯設備士による実施指導を受講した警察官の人数			
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	1,281				1,281	事業実施方法	直営					
査定案						補助率	—					

事業評価

事業名	住宅侵入犯罪抑止対策事業	部局名	警察本部	課名	生活安全企画課	課長名	江戸 義朗
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>空き巣、忍込み等の住宅侵入犯罪は、県民が身近に感じる犯罪のなかでも居住者の身体へ危害が及ぶ可能性が高い犯罪であることから、県民の自主防犯意識を高め「犯罪に強い住環境」の整備促進を図る必要があるため。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
○防犯設備士による実地指導 24回371人に対し実施 ○住宅情報誌による広報 平成27年9月18日発行の「ハウスナリー」に掲載 ○講習会の実施 ・平成27年10月20日と平成27年12月24日に実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

非行の芽を摘む活動強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	警察本部	課名	少年課	課長名	三澤 茂	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
いじめ問題、校内暴力等の早期把握および無料アプリ利用の被害防止啓発による早い段階での非行防止、被害防止												
[事業内容]												
<p>○いじめ問題等の早期把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のサポートカード作成、配布（2,605千円） <p>○無料アプリ利用の被害防止啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発教材の作成、配布（317千円） 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	3,248	2,922	2,922						
2月現計予算額の推移		/	/	3,248	2,922							
決算額の推移		/	/	3,248								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	非行少年 (目標) 実績	482	419	324	234				検挙、補導等した犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年数			
活動指標	非行防止教室 (目標) 実績	613	551	585	469				小・中・高校生対象の非行防止教室の実施回数			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	2,922				2,922	事業実施方法	直営					
査定案						補助率	—					

事業評価

事業名	非行の芽を摘む活動強化事業	部局名	警察本部	課名	少年課	課長名	三澤 茂
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>少年非行の情勢は、再犯率が3割を超え、非行の低年齢化、無料アプリ利用に絡む新たな犯罪被害の増加等がみられる。 このため、小・中・高校生が直接警察に相談しやすくするとともに、無料アプリの危険性を啓発し、早い段階での非行防止、被害防止が必要となっている。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
○非行防止教室実施回数 ・幼、保育園 35回 ・小学校 265回 ・中学校 120回 ・高校 44回 ・その他 5回				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

非行・被害少年立ち直り支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	警察本部	課名	少年課	課長名	三澤 茂		
福井ふるさと元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 政推枠	ビジョン []			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過 年数	3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 []				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金					
犯罪等により重篤なダメージを受けた被害少年や非行を繰り返す少年の立ち直りを支援し、非行のない元気な青少年を育む。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> ○体験型立ち直り支援活動 <ul style="list-style-type: none"> ・警察職員等との協働作業（91千円） ・専門家の指導による作業（257千円） ○サポートアドバイザー等による専門的支援 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーバイズ（126千円） ・直接カウンセリング（120千円） ・鑑定（100千円） ・旅費（16千円） 													
[予算額の推移等] （単位：千円）													
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移		/	/	998	841	710							
2月現計予算額の推移		/	/	998	841								
決算額の推移		/	/	736									
[成果指標等の推移]													
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	非行少年 (目標)	/	/	324	234				検挙、補導等した犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年数				
	実績												
活動指標	立ち直り支援活動 (目標)	/	/	51	14				警察職員、少年警察ボランティア等による体験型立ち直り支援活動実施数				
	実績												
[財源内訳・事業主体等]													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部						
要求額	710	220			490	事業実施方法	直営						
査定案						補助率	—						

事業評価

事業名	非行・被害少年立ち直り支援事業	部局名	警察本部	課名	少年課	課長名	三澤 茂
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>犯罪等のトラウマ体験により重篤なダメージを受けた被害少年や非行を繰り返す少年は、自分自身や家庭に複雑な問題を抱え、人間不信に陥って孤立している。これら重篤な少年に対して様々な活動の体験を通じて「人の温かさ」を実感させ、「自己肯定感」を育むとともに、一人ひとりにあわせた高度専門的なケアをすることで立ち直りを支援する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
○体験型立ち直り支援活動 14回 ・警察職員等との協働作業 5回 ・専門家の指導による作業 9回 ○サポートアドバイザー等による専門的支援 ・スーパーバイズ 24回 ・脂質鑑定 17回		少年と年齢が近いため、少年の心情を理解しやすく、少年も親しみを持ちやすい大学生ボランティアを活用した効果的な立ち直り支援活動を実施する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

少年サポートセンター活動費

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	警察本部	課名	少年課	課長名	三澤 茂	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H12 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[]		<input type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
職員がカウンセラー養成機関が実施する研修において心理学や社会学等の専門知識やカウンセリング技能を習得し、少年に対する的確な相談能力等により非行防止や健全育成に努める												
[事業内容]												
○少年警察補導員（2人）に対し、心理学、社会学等の専門的知識やカウンセリング技能を習得させる ・KIDS（中級）負担金 58,320円												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		153	149	209	173	59						
2月現計予算額の推移		153	149	209	173							
決算額の推移		153	149	209								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	非行少年	(目標)							検挙、補導等した犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年数			
		実績	482	419	324							
活動指標	少年相談件数	(目標)							ヤングテレホン、少年相談室等において受理した相談件数			
		実績	927	1,077	1,065							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		警察本部				
要求額						事業実施方法		直営				
査定案	59					補助率		—				

事業評価

事業名	少年サポートセンター活動費	部局名	警察本部	課名	少年課	課長名	三澤 茂
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>少年相談活動は、その内容が複雑・多様化している一方、対象少年は可塑性が強く、相談等の対応が将来に多大な影響を及ぼすことから、きめ細やかな心理臨床面のアプローチが必要であるため。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・石川県 民間研修なし ・富山県 富山大学人間発達科学部聴講 旅費41,070円 負担金97,200円 明治・安田こころの健康財団 旅費35,600円 負担金12,000円 			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
カウンセラー養成集中講座1名受講				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

県都交通機能強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	交通規制課	課長名	中村嘉孝
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な県土] 政策 [美しい県土、楽しく便利なまちの形成]			事業 区 分	■ 国庫 ■ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度 H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[「安全・安心ふくい」万全プラン]								
[事業目的]											
福井駅周辺土地区画整理、えちぜん鉄道高架化に関連して、交通安全施設の再整備を行い、安全で円滑な交通流を確保する。											
[事業内容]											
<ul style="list-style-type: none"> ○ 福井駅東の信号制御機更新・現示変更等 6交差点 ○ 福井駅周辺の交通監視カメラの更新 2基 ○ 福井駅東の交通監視カメラ新設 1基 											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		/	/	98,982	93,367	61,894			福井県等が実施する事業に合わせて行うため、それらの計画規模内容によって年度により増減する。		
2月現計予算額の推移		/	/	98,982	93,367						
決算額の推移		/	/	98,947							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	信号機整備交差点数	(目標)	/	/	(16)	(5)	(6)		福井県等が実施する事業の範囲内の交差点整備数		
		実績			16	10					
活動指標	信号機整備交差点数	(目標)	/	/	(16)	(5)	(6)		福井県等が実施する事業の範囲内の交差点整備数		
		実績			16	10					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		警察本部			
要求額	61,894	13,318	35,000		13,576	事業実施方法		直営			
査定案						補助率		-			

事業評価

事業名	県都交通機能強化事業	部局名	警察本部	課名	交通規制課	課長名	中村嘉孝	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>県や福井市では、『福井鉄道とえちぜん鉄道の相互乗り入れ推進事業』、『福井駅周辺土地区画整理支援事業』、『福井鉄道福武線軌道区間整備事業』、『福井駅付近連続立体交通事業（えちぜん鉄道高架化）』等の事業を計画している。</p> <p>平成28年度は、『福井駅周辺土地区画整理支援事業』、『福井駅付近連続立体交通事業（えちぜん鉄道高架化）』を実施するにあたり、安全で円滑な交通流の確保が不可欠であることから交通安全施設の再整備を行う。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
—				—				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井駅周辺土地区画整理支援事業等 (役割分担) 福井県は、福井駅周辺土地区画整理支援事業、福井駅付近連続立地交通事業（えちぜん鉄道高架化）を行う。			市町との連携状況	福井市は、福井駅周辺土地区画整理事業を行う。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
県等が実施する「福井駅周辺土地区画整理支援事業」に対し、信号等安全施設を整備し、安全で円滑な交通流が確保できた。		福井駅西口周辺の交差点整備等が平成27年度で終了したため、今年度は県等が実施する事業にあわせて福井駅東周辺の安全施設の整備を行う。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 31,473
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

交通安全施設一般整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	交通規制課	課長名	中村嘉孝	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	S62 年度 経過年数 30 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
道路管理者が行う電線共同溝整備および景観化事業に併せて、当該路線の信号機用架空ケーブル等の地中化と景観化を行う。												
[事業内容]												
○ (県) 福井丸岡線 福井市東下交差点からえちぜん鉄道踏切間の無電柱化・景観化												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		43,627	69,400	24,210	44,112	31,381			道路管理者の景観化事業に合わせて行うため、計画がある年度のみ交通安全施設一般整備で実施するため、年度により増減する。			
2月現計予算額の推移		18,440	53,689	19,606	27,859							
決算額の推移		18,439	52,754	19,605								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	景観化、地中化交差点数 (目標)	(1)	(5)	(5)	(6)	(2)			道路管理者の景観化事業区間内の交差点整備数			
	実績	1	5	5	3							
活動指標	景観化、地中化交差点数 (目標)	(1)	(5)	(5)	(6)	(2)			道路管理者の景観化事業区間内の交差点整備数			
	実績	1	5	5	3							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部					
要求額	31,381		23,000		8,381	事業実施方法	直営					
査定案						補助率	—					

事業評価

事業名	交通安全施設一般整備事業	部局名	警察本部	課名	交通規制課	課長名	中村嘉孝	
[事業の必要性・要求の背景]								
電線共同溝整備および景観化事業を道路管理者が行い、時期を合わせて当該路線にかかる信号機用架空ケーブル等の地中化工事をするなどにより、他事業と連携した景観化が図られる。								
[受益者]				[想定される受益者数]				
—				—				
他県の状況	道路管理者、電線管理者、地方公共団体等の関係者からなる地方ブロック無電柱化協議会において、構成員の意見を十分反映した意見により、推進計画を策定し計画的に推進している状況である。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 無電柱化事業 (役割分担) 電線共同溝整備・景観化事業を行っている他の機関、事業者と共に同事業を行っていく。			市町との連携状況	市町についても、県と共同して事業を実施する。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
道路管理者が行う景観化事業に合わせて、景観に配慮した安全施設整備を行っており、効果的である。		昨年度鯖江市と大野市の景観化が終了したことから、今年度は福井市内の景観化を図る。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 12,731
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

OSSシステム運営経費

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	交通規制課	課長名	中村嘉孝																																			
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン []			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H17 年度	事業終了予定年度	H34 年度																																		
関連する県の計画等		政策	[]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数																																					
							<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他	12 年																																					
<p>[事業目的]</p> <p>自動車を保有するために各行政機関に対して必要な多くの手続きを、インターネットの利用により申請者の負担軽減を図るため、警察本部と県下11警察署をネットワークを構築しOSS-I F Sを経由して中部運輸局福井運輸支局及び県税務課と必要なデータを共有するシステムを平成29年度までに構築する。 併せて、手数料の納付を県証紙によらず、銀行経由で県に直接納付される制度及び電子署名による保管場所証明書の送信を行う制度を構築する。</p>																																														
<p>[事業内容]</p> <p>OSSシステムは全国警察をネットワークし、さらにOSS-I E Sで国土交通省及び県税務課とネットワークするシステムであり、システム構成が複雑であることから県単独でシステムを構築するには多額の構築費用及びランニング費用が発生することから、経費を節減するため全国警察を取りまとめた協議会を立ち上げ、協議会で運営する「共同利用型システム」を構築する。 共同利用型システムを構築するために必要な経費は、協議会で定めたルールに基づき各県で負担する。 また、自動車を保有するために必要な手続きのうち、警察では従前から自動車保管場所証明事務を担当しており、この事務に必要な機器の賃借を行う。</p>																																														
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">231</td> <td style="text-align: center;">231</td> <td style="text-align: center;">83,609</td> <td style="text-align: center;">27,333</td> <td style="text-align: center;">9,564</td> <td style="text-align: center;">98,752</td> <td style="text-align: center;">19,237</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">平成29年度システム稼働開始に向けた準備段階のため</td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">231</td> <td style="text-align: center;">231</td> <td style="text-align: center;">237</td> <td style="text-align: center;">27,333</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td style="text-align: center;">231</td> <td style="text-align: center;">231</td> <td style="text-align: center;">237</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移	231	231	83,609	27,333	9,564	98,752	19,237	平成29年度システム稼働開始に向けた準備段階のため	2月現計予算額の推移	231	231	237	27,333				決算額の推移	231	231	237				
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																						
当初予算額の推移	231	231	83,609	27,333	9,564	98,752	19,237	平成29年度システム稼働開始に向けた準備段階のため																																						
2月現計予算額の推移	231	231	237	27,333																																										
決算額の推移	231	231	237																																											
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標 ディーラー代行に係る申請費用平均低減額 (目標) 実績</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">8,000</td> <td style="text-align: center;">8,000</td> <td>先行導入県のOSS導入後の申請費用に関する調査結果 平成29年度中の運用開始を計画しているため28年度以前の指標はない。</td> </tr> <tr> <td>活動指標 OSS利用率 (目標) 実績</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">35.5%</td> <td style="text-align: center;">46.0%</td> <td>平成25年度に先行稼働した奈良県の実績 平成29年度中の運用開始を計画しているため28年度以前の指標はない。</td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標 ディーラー代行に係る申請費用平均低減額 (目標) 実績	/	/	/	/	/	8,000	8,000	先行導入県のOSS導入後の申請費用に関する調査結果 平成29年度中の運用開始を計画しているため28年度以前の指標はない。	活動指標 OSS利用率 (目標) 実績	/	/	/	/	/	35.5%	46.0%	平成25年度に先行稼働した奈良県の実績 平成29年度中の運用開始を計画しているため28年度以前の指標はない。							
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																						
成果指標 ディーラー代行に係る申請費用平均低減額 (目標) 実績	/	/	/	/	/	8,000	8,000	先行導入県のOSS導入後の申請費用に関する調査結果 平成29年度中の運用開始を計画しているため28年度以前の指標はない。																																						
活動指標 OSS利用率 (目標) 実績	/	/	/	/	/	35.5%	46.0%	平成25年度に先行稼働した奈良県の実績 平成29年度中の運用開始を計画しているため28年度以前の指標はない。																																						
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">警察本部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要求額</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">9,564</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">9,564</td> <td>事業実施方法</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td>査定案</td> <td>補助率</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部	要求額	9,564					9,564	事業実施方法	直営	査定案	補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部																																							
要求額	9,564					9,564	事業実施方法	直営																																						
査定案		補助率	—																																											

事業評価

事業名	OSSシステム運営経費	部局名	警察本部	課名	交通規制課	課長名	中村嘉孝
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>国の「e-Japan重点計画」に明記され、平成29年度までに全国で稼働するよう平成25年12月に閣議決定されている。</p>							
[受益者] 自動車保有者				[想定される受益者数] 年間約5万人を対象として、利用率に応じて変動（初年度は約18,000人）			
他県の状況	全国11都府県が稼働済み その他の県は平成29年度までの稼働開始にむけ準備中			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自動車保管場所証明事業 (役割分担) 自動車保管場所証明事務に係る歳入および車庫調査を行う			市町との連携状況	市町の連携は不要		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
システム構築の準備期間のため事業の実績はない。		システムの合理化を推進する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新 第10次交通安全計画推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	警察本部	課名	交通企画課		課長名	北村直洋
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策 [日本一の安全・安心]			<input type="checkbox"/> 県単		□ 補助金	経過年数				
			[「安全・安心ふくい」万全プラン]			<input type="checkbox"/> その他	□ その他			1 年		

[事業目的]

「第10次交通安全計画」に掲げる5つの目標の実現に向け、高齢運転者の安全運転指導の強化および免許返納制度の理解促進により交通事故の減少を図る。

[事業内容]

- 高齢運転者交通事故抑止対策
 - ・ドライブレコーダーを活用した個別の交通安全指導（平成27年度から実施）
高齢運転者が自分の使用車両にドライブレコーダーを取付け、その映像記録をもとに警察官が安全指導を実施。
 - ・座学と実技で学ぶシルバー・セーフティドライビング講習（平成28年度から実施）
ドライブレコーダー映像で明らかになった高齢運転者の特性を踏まえ、個人個人の運転の特性に応じた個別体験型講習を実施。

[予算額の推移等]

(単位：千円)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移					3,533			
2月現計予算額の推移								
決算額の推移								

[成果指標等の推移]

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標 交通事故死者数 (目標) 実績					(35)			第10次福井県交通安全計画の基本目標
活動指標 シルバー・セーフティ ドライビング講習の受講者 (目標) 実績					(600)			ドライブレコーダー映像で明らかになった高齢運転者の特性を踏まえ、個人個人の運転の特性に応じた個別体験型講習であるシルバー・セーフティドライビング講習を実施。

[財源内訳・事業主体等]

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	警察本部
要求額	3,533				3,533	事業実施方法	直営
査定案						補助率	—

事業評価

事業名	第10次交通安全計画推進事業	部局名	警察本部	課名	交通企画課	課長名	北村直洋
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>○ 高齢運転者の現状</p> <p>1 高齢運転者が第1当事者となる人身事故率42.2%（平成27年）← 平成26年は人身事故率22.6%</p> <p>2 65歳以上の高齢運転者（運転免許保有者）12万7千人（全免許保有者の23.4%）</p> <p>3 60歳から64歳までの高齢運転者予備軍の方が5万人</p> <p>○ 高齢運転者による交通事故の抑止</p> <p>70歳以上の運転者を対象としたドライブレコーダー指導やシルバー・セーフティドライビング講座を受講してもらうことで、自身の運転技術やこれまでの運転の癖を見直し、法令や交通マナーを再認識して、公道での社会の模範となる運転をする努力の一助としていただくことで、高齢運転者による交通事故の抑止を図る。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民							
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	